

議会活性化特別委員会 行政視察報告

4月18日から19日にかけて、委員10名、議長、事務局随行者名の合計13名で、福井県小浜市、愛知県半田市を訪問し、議場内投票システムや議員問討議の手法などについて視察してきました。

■福井県小浜市

議場内投票システムについて

小浜市議会では、議場各機器の老朽化による機器更新の必要性及び議会改革を行う上での重要な課題のひとつである「開かれた議会」を目指すことを目的とし、平成23年に議場内投票システム（電子表決システム）を導入しました。

電子表決システムでは、個々の議員の賛否状況が



小浜市議会

議場内のモニターに表示されることで、傍聴者のほか、ケーブルテレビの視聴者にも賛否状況を分かりやすく伝えることができるとな

ったことになった。

これにより、議員個人の賛否がより明確になること



電子表決システム

とから、議員の表決責任及び明確な意思決定など、市民への説明責任及び情報公開の推進に寄与していることとありました。

政策討論会について

小浜市議会では、議会基本条例に基づき、政策討論会を行っています。

これまでには、議会報告会で出された市民からの意見や、議員定数・報酬などを課題とし、一般市民からの傍聴を受け入れながら実施したとのこととありました。

また、委員会においても、政策提言

や議案審査にあたっては、必要に応じて、議員問での自由討議も行っているとのこととありました。

加賀市議会においても、「議論する議会」を目指す上で、早期の導入・実施が必要であると感じました。

■愛知県半田市

議員問討議について

半田市議会



半田市議会

では、委員会における重要な議案審査の中で、議員問討議（自由討議）を行っています。これまで、市政課題に対する調査研究を協議する議員総会や、政策調査

研究プロジェクトの場で実施したとのこととありました。

特に、議会で事業評価を行い、当局へ提案する際には、議員問協議を行い、原則として議会の全会一致の意見として提案を行うこととしているとのこととありました。

加賀市議会においても、このような制度を参考にしながら、議員問討議の実施の必要性を感じました。

コロナ禍での議会活性化の取組について

半田市議会において、毎年行ってきた議会報告会は、コロナ禍においては例年とおりの開催が困難な状況になっているとのこととありました。開催の時期・場所・内容を試行錯誤しながら行っているとのことでした。

しかしながら、毎回の参加者に偏りがあり、十分な参加者数が確保できない等、課題は多いとのこととありました。

このことについては、加賀市議会でも同様であり、今年度の議会報告会を開催する上で参考とし、より充実した内容の議会報告会となるよう検討していく必要があると感じました。

（半田市議会には、議会運営委員会と合同で視察を行いました。）

■視察を終えて

今回は、議会のデジタル化や、議員問討議等について、先進地を視察してきました。

両市議会とともに、議員から直接、実情や課題点などを聞くことができ、今後の議会運営を進めるうえで、大変良い刺激となりました。

今回の視察で学んだことを踏まえ、議会デジタル化の取組や、議員問討議などによる議会審議の充実に関する検討を進めていきたいと思えます。